

学校評価（前期）児童・保護者アンケート結果

令和3年10月

児童アンケート結果		
質 問	学年 肯定率 平均値	保護者 肯定率
1：学校は楽しい。	91.98	93.97
2：授業はわかりやすい	92.05	91.95
3：自分は進んで学習に取り組んでいる	86.68	83.05
4：学習用タブレットを使って学習している	85.91	94.25
5：自分の考えや思いを言葉や文字にして表すことができる	81.47	77.59
6：これまで学んだことを次の学習に生かしている。	86.44	89.94
7：まわりの人と相談や話し合いなどしながら自分から学ぼうとしている。	83.42	83.05
8：まわりの人に自分からあいさつができています。	91.61	76.44
9：まわりの方の話をよく聞くことができる	89.44	79.02
10：まわりの方を大切に言葉がけや行いができる	89.61	90.23
11：自分のことが好きで大切に思っている	75.27	95.98
12：まわりの方のことを考えている	93.72	92.24
13：先生に話を聞いてもらっている	94.14	94.54
14：先生はいけないことはいけないと言ってくれる	97.23	97.7
15：目標やめあてをもって学校生活を送っている	89.96	74.71
16：まわりの方と協力しながら生活や学習をすることができる	92.85	94.25
17：まわりの方のためになるような仕事をしている	90.53	88.51
18：給食をしっかり食べて元気に生活している	94.67	93.39
19：ルールやマナーを守って登下校するなど安全に気を付けている	95.02	95.11
20：まわりの方と楽しく遊んだり進んで運動したりしている	91.88	93.1

肯定率平均値…全体に対し、「4 そう思う」か「3 少し思う」と回答した学年児童の割合の平均値。

調査結果概要

<数値の高い項目から>

【良い点】

- 質問① ⇒ 全体としてどの学年の児童も学校は楽しいと感じている。
- 質問② ⇒ どの学年の児童も授業は分かりやすいと感じている。
- 質問⑧ ⇒ 児童は、まわりの人に自分から挨拶ができていますと感じている。
- 質問⑫ ⇒ 児童は、まわりの方のことを考えていますと感じている。
- 質問⑬ ⇒ 児童は、担任や教職員に話を聞いてもらっていると感じている。
- 質問⑭ ⇒ どの学年の児童も、担任や教職員からいけないことはいけないと指導を受けていますと感じている。
- 質問⑯ ⇒ まわりの方と協力しながら生活や学習をできていますと感じている。
- 質問⑰ ⇒ まわりの方のためになるような仕事をしていると児童は感じている。
- 質問⑱ ⇒ どの学年の児童も、給食をしっかり食べて元気に生活していますと感じている。

質問⑱ ⇒ 登下校時はルールやマナーを守っていると児童は感じている。

質問⑳ ⇒ まわりの人と楽しく遊んだり進んで運動したりしていると児童は感じている。

<数位の低い項目から>

【課題点】

質問⑪ ⇒ 自分のことが好きで大切に思っていると感じている児童が、3年生以降学年が上がるにつれて下がっている。児童が自身を好きと思えなかったり、自分は大切ではないと感じたりしていることが考えられる。自尊心や自己効力感などが、中・高学年になっても持ち続けられるようにするために手立てを考える必要があると考えられる。

<考察>

質問③⑥⑦ ⇒「学びに向かう力、人間性等」に関わる3項目が共通して高学年になると70%台に下がっている。進んで学習したりこれからの学習に生かそうとしたりする姿勢や、まわりの人から学ぼうとする姿勢を高学年児童ももてるようにする手立てが必要であると考えられる。

質問⑤⑩ ⇒「思考力・判断力・表現力等」に関わる2項目が高学年になると70%台に下がっている。思いや考えをどのような言葉や文字に表したらよいか、まわりの人を大切にしたい言葉がけや行いをどのようにしたらよいかを重点的に考えたり身に付けたりすることが必要であると考えられる。

<前期学校評価結果振り返り> (校内作成資料より一部抜粋)

①児童アンケート結果分析 【学年等ごとの肯定率】

○全学年80%以上の肯定率

◎全学年90%以上の肯定率

1	○学校は楽しい。	11	自分のことが好きで大切に思っている。
2	◎授業は分かりやすい。	12	○まわりのことを考えている。
3	自分は進んで学習に取り組んでいる。	13	○先生に話をきいてもらっている。
4	○学習用タブレットを使って学習している。	14	◎先生はいけないことはいけないと言ってくれる。
5	自分の考えや思いを言葉や文字にして表せる。	15	目標やめあてをもって学校生活を送っている。
6	これまで学んだことを次の学習に生かしている。	16	○まわりの人と協力しながら生活や学習をすることができる。
7	まわりの人と相談や話し合いなどしながら自分から学ぼうとしている。	17	○まわりの人のためになるような仕事をしている。
8	まわりの人に自分からあいさつができています。	18	◎給食をしっかり食べ、元気に生活している。
9	まわりの方の話をよく聞くことができる。	19	○ルールやマナーを守って登下校するなど安全に気を付けている。
10	まわりの人を大切にしたい言葉がけや行いができる。	20	○まわりの人と楽しく遊んだり進んで運動したりしている。

宗四小の児童のよさ、特徴、強み

①児童アンケート結果分析

▲とくに下げ幅が大きい項目 【学年等ごとの肯定率】

11 (児童) 自分のことが好きで大切に思っている。

3年	4年	5年	6年
86%	75%	60%	38%
	-11%	-15%	-22%

6 (教職員) 自分も友だちも大切にしながら互いに関わり合い、自尊心を高め合っている。 2.91ポイント

自尊心 自己効力感 自己肯定感
自分のよさや可能性 友達のよさ 協働的な学び

<後期（10月～3月）に向けた改善の重点>

- 重点①** 自分の考えや思いを言葉や文字にして表すことができるようにする指導・支援の取組
まわりの人を大切に言葉がけや行きができるようになるための指導・支援の取組
- 重点②** 児童の学習への意欲を高めるための実践の充実や新たな取組
(自尊心、自己効力感、自己肯定感、自分や友達のよさなどを高める指導・支援の取組)

● 思考力、判断力、表現力等（考える子ども、思いやりのある子ども）

- 重点①
- | | |
|----|----------------------------|
| 5 | 自分の考えや思いを言葉や文字にして表すことができる。 |
| 10 | まわりの人を大切に言葉がけや行きができる。 |

相手の気持ちを想像する
言葉を適切に使う
話す・聞く活動を行う

相手のことを考える
相手の立場で考える
多様性の尊重

実践
↕
振り返り

国語科・
各教科等

道徳科・
道徳教育

特別活動・
各学習活動

児童アンケート
「学びに向かう力、人間性等」
に関わる項目

3	自分は進んで学習に取り組んでいる。
6	これまで学んだことを次の学習に生かしている。
7	まわりの人と相談や話し合いなどしながら自分から学ぼうとしている。
15	目標やめあてをもって学校生活を送っている。

教職員アンケート
「児童の学習への意欲を高めている」

5	主体的・対話的で深い学び	3.27
6	言語活動を重視した授業	3.18
7	個に応じた指導の工夫	3.14
8	問題解決的、体験的な学習	3.23
9	I C T 活用の授業実践	3.09

平均値：
「1そう思わない」～
「4そう思う」を平均
した値。

←教職員アンケート
の平均値は5項目
とも3ポイント台

重点②
児童の学習への意欲を高めるための
実践の充実、新たな取組

<学校における今後の計画（9月～12月）>

一学期末（7月）

実践、取組

児童のよさ
特徴
強み

児童の課題
重点①・②

継続

9月・10月
各教科部会→取組案
各分掌部会→改善策

学年・学級
学年会→取組案

改善・向上

二学期（9月～12月）

取組、実践

各教科部・全学年
各分掌部・学校全体
学年・学級

学校評価（二回目）

学校評価(前期)保護者アンケート結果

令和3年10月

質問項目21～30の結果 数値は、肯定率(全体に対し、「4そう思う」か「3少し思う」と回答した割合)

*質問項目1～20の結果は、児童アンケートと並べて表記してあります。

質問項目	肯定率(%)
21:お子さんは、自ら家庭学習をしている。	72.41
22:お子さんは、進んで読書をしている。	50.28
23:お子さんは、家族の一員として家の仕事をしている。	77.01
24:お子さんは、しっかり早寝早起きをして朝ごはんを食べている。	92.81
25:お子さんは、ゲームやインターネット、携帯電話など、お家でのルールを守って生活している。	83.62
26:学校は、教育活動の様子が分かるよう情報提供している。	94.82
27:学校は、家庭からの相談ごとなどに対応している。	96.83
28:学校は、家庭や地域と連携し、学校応援団などの活用を図りながら、教育活動の充実に努めている。	95.11
29:家庭では、子どもたちに基礎的・基本的な生活習慣を身に付けさせている。	97.70
30:家庭では、まわりが育て朝ごはんを食べているわが子も育つという協働意識を持ち、子どもたちのよりよい成長のため学校と連携、協力している。	94.54

調査結果概要

<数値の高い項目から>

- 質問②④ ⇒ 保護者は、子どもがしっかり早寝早起きをして朝ごはんを食べていると感じている。
- 質問②⑥ ⇒ 保護者は、教育活動の様子が分かるように学校が情報提供をしていると感じている。
- 質問②⑦ ⇒ 保護者は、学校が家庭からの相談ごとに対応していると感じている。
- 質問②⑧ ⇒ 保護者は、学校が家庭や地域と連携し、学校応援団などの活用を図りながら教育活動に努めていると感じている。
- 質問②⑨ ⇒ 保護者は、家庭では子どもたちに基礎的・基本的な生活習慣を身に付けさせていると感じている。
- 質問③⑩ ⇒ 保護者は、家庭では「まわりが育てわが子も育つ」という協働意識をもって子どもたちのよりよい成長のために学校と連携、協力していると感じている。

<数値の低い項目から>

- 質問②① ⇒ およそ7割の保護者は、子どもが自ら家庭学習をしていると感じている一方で、およそ3割の保護者は、子どもが自ら家庭学習をしているとは感じていない。
- 質問②② ⇒ 半数の保護者が、子どもは進んで読書をしていると感じている一方で、もう半数の保護者は、子どもが進んで読書をしているとは感じていない。
- 質問②③ ⇒ 子どもが家族の一員として家の仕事をしていると感じていない保護者が2割ちょっといる。